

「頭頸部腫瘍における臨床像に関する後向き観察研究」についてのご説明

● はじめに

「札幌医科大学では最新の医療を患者さんに提供するために、最良の治療法の紹介とその実践を日常臨床とすることに尽力し、さらに、新たな医療の発展のための医学研究も行っています。臨床研究による新しい治療法の確立は、患者さんのご協力なくして成し遂げることはできません。頭頸部領域にできる癌は扁平上皮癌が主ですが、がん化機序は環境因子、ウイルス感染、遺伝因子が複雑に絡みあり、今もって不明確な点が多く、今後多くの研究が待たれるところです。手術、放射線治療、化学療法などが代表的な治療法ですが、その選択に明確な根拠は示されていません。言い換えると、有用な制御方法などについて、未知の分野も多く残っている臓器といえます。

このように、頭頸部がんに関しては病気の解明のみならず、予防・治療策の発見につながる重要な研究課題が多く残されています。頭頸部がんに対する、臨床背景や病理検査結果などを後ろ向きに観察し、治療効果や予後との因果関係を解析することは、今後の治療法の改善のために必須と考えられます。」

● 研究対象を説明

「当院耳鼻咽喉科において**1990**年1月1日から**2025年4月1日**まで頭頸部がんの診断にて外来診療、入院加療を受けられた方を対象にしています。」

● 研究の概要

「カルテ情報（治療時年齢、性別、既往歴、病状（原発部位、病理診断、治療内容、予後など））の精査や、病理組織学的検討（PCR法、ウエスタンブロット法、免疫染色法など）を行い、治療効果や予後への関連を解析し考察します。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。」

● 患者さんの個人情報の管理について

「本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。」

● 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

「**1990**年1月1日から**2025**年4月1日までの間で、本院で頭頸部腫瘍の治療を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。」

● 研究期間

（病院長承認日）から**2025**年4月1日まで

● 医学上の貢献

「研究成果は頭頸部腫瘍の発症機序の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。」

● 問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 耳鼻咽喉科

本院研究責任者 黒瀬 誠

【平日 TEL (011)611-2111 内線34910 (教室)

休日・時間外TEL (011)611-2111 内線 34960 (病棟)】